

オンライン キリスト教典礼講座

by 石井祥裕(Ishii Yoshihiro)

(AMOR連載「ミサはなかなか面白い」企画構成担当者)

「感謝の祭儀の成り立ちと現在」

(全7回予定)

指定テキストとともに、さらに多角的に解説をしていきます。

テキスト：『ミサを祝う 最後の晚餐から現在まで』
国井健宏著(オリエンス宗教研究所発行)

第1回 ミサの成り立ち（起源と形成期）

2021年7月31日（土）20時～21時半＋α

参加費：全7回 = 7000円， 単回 各1000円

(詳しい趣意説明、講師紹介、申込要項は2枚目参照)

参加希望の方は、py-ishii@jcom.home.ne.jp へご連絡ください。

(参加費払込先、zoomのURL等をお知らせします)

本講座の趣旨 カトリック教会の第2バチカン公会議（1962～65年）による典礼の刷新と促進（『典礼憲章』参照）にのっとり、典礼の祈り、典礼を通してのキリスト教信仰の学びを深めていきます。歴史をたどり、現在の典礼についての理解を深め、また神学的な考察のさまざまな姿に触れ、各自の理解と学びの深まりを目指します。

講座の性格 本講座は、講師個人企画の自主講座であり、何か公的資格を付与するものではありません。参加者自身の学びのために、自由にお役立てください。

参加資格 この講座の趣旨に賛同する方はどなたでも参加できます。カトリック信者に限らず、どの教会・教派所属のキリスト者、また、キリスト者でない方でも大歓迎です。

講師紹介 石井祥裕（いしい よしひろ）：1954年北海道札幌市生まれ。1978年、カトリック麹町教会で受洗。カトリック東京教区信徒（現在、関町教会所属）。上智大学大学院神学研究科博士前期課程を修了後、オーストリアのインスブルック大学神学部に留学。ドイツ語圏大学における神学博士号を典礼学で取得。現在、上智大学神学部および同大学院神学研究科非常勤講師、東京カトリック神学院非常勤講師、日本カトリック典礼委員会委員。近現代ドイツ語圏の典礼神学を踏まえた、典礼神学の研究と典礼学の教育に従事。

訳書：J.A.ユングマン著『古代キリスト教典礼史』（平凡社 1997年）

著書：『神とともにある生活 キリスト教典礼の内的風景』（パピルスあい 2005年）

他、オリエンズ宗教研究所編『典礼奉仕への招き』『信仰を求める人とともに』共著

企画構成：ウェブマガジン「AMOR 陽だまりの丘」連載「ミサはなかなか面白い」（2016～19）

開講日 毎月最終土曜日（12月、3月を除く）

（今期は2021年7/31 8/28 9/25 10/30 11/27, 2022年1/29 2/26の全7回）

参加費の意義 直接には、本講座の維持充実（資料作成、未訳文献の翻訳、講座内容の将来的書籍化等）および関連活動であるウェブマガジン「AMOR 陽だまりの丘」の運営協力（企画内容の将来的書籍化も含む）のための寄付として扱わせていただきます。

参加申込要項 参加申込の意向の方は、メールで py-ishii@jcom.home.ne.jp までご連絡ください（件名に「典礼講座」と記載のこと）。申込みいただいた方に、参加費払込先、その他、必要情報をお伝えします。払込確認以降、各回のzoomのURLをお伝えします。

（リアルタイム参加ができないときでも録画データを配布し、オンデマンドで視聴いただけるよう手配しますので、その利便性も考慮の上、お申込みください）

問い合わせ先 原則として、上記メールアドレスまで、メールでお尋ねください。

電話の場合は、石井祥裕携帯（080-6892-7023）までお願いいたします。